

学校教育目標	【開拓の心を身に付け、志をもち、自ら育つ生徒】 ・学び考える生徒 ・他を思いやる生徒 ・心身たくましい生徒		目指す学校像 目指す生徒像 目指す教師像	◎誰もが生き生きと過ごし笑顔溢れる学校。課題に迅速に対応し、積極的に改善・充実を図る学校。保護者・地域から信頼され、安心して生徒を通わせられる学校。 ◎自ら学び、考え、判断し、主体的に行動できる生徒。人の気持ちや立場を思いやり、互いを尊重し、高め合うことのできる生徒。向上心を持ち、将来にわたって地域や社会のために役立つとする生徒。 ◎生徒の成長を一番に考え、常に工夫や改善の意識を持ち、互いに高め合いチームで教育活動を推進できる教師。生徒の身近にいる大人として魅力のある教師。
前年度までの本校の現状	成果	・上級生が良い見本となり、学校が落ち着いた状態を維持できている。授業に集中している生徒が多い。良い伝統を継承し、あいさつが全学年でできている。 ・学校行事は毎年ワンランク上を目指し、３年生が手本となり下級生を引っ張っている。 ・安定した小中連携ができている。また地域からの期待も高いが応えることができている。	課題	・学力の２極分化が進んでいる。学力的に低い生徒へ学習意欲を高めさせ、学力を向上させることが難しい。 ・不登校生徒の出現率が８％台から６％台に減ったが、特別な配慮を要する生徒も多いため、引き続き新規の不登校生徒が出ないように細やかな配慮が必要である。 ・教職員の労力の担うところは大きく、働き方改革は進んでいない。

[illegible]

[illegible]